

眼科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	黄斑界面疾患の画像検査を用いた特徴と加療方法の検討
研究機関の長（試料・情報の管理責任者）	愛知医科大学病院 病院長 天野哲也
研究責任者	（所属）愛知医科大学眼科学講座 （職名）講師 （氏名）坪井 孝太郎
研究の対象となる方	2010 年 12 月から 2035 年 12 月までに黄斑円孔、分層黄斑円孔と診断され硝子体手術加療を行った患者さん
研究期間	研究実施承認日 ～ 2035 年 12 月 31 日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 黄斑界面疾患の検査画像をもとに分類することで発症病態の考察と治療法の検討を行うことを目的としています。 〔利用方法〕 そのデータをもとに統計解析（t 検定、フィッシャーの正確確率検定、カイ二乗検定、クルスカール＝ウォリス検定、回帰分析）を施行します。 〔外部への試料・情報の提供〕 試料・情報は個人が特定できないようにし、インターネットに接続されていないパスワードのかかったパーソナルコンピュータ（PC）に研究用番号、加工前の個人識別情報（ID など）及び個人を識別する電子的配信などにより高岡市民病院へ提供します。 〔外部への提供開始日〕 研究実施承認後
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：年齢、性別、術眼、疾患（全層黄斑円孔または分層黄斑円孔）手術日、眼軸長、既往歴、OCT 画像、En face OCT 画像、手術術式や術中合併症、術後視力、術後 OCT 画像、術後 En face OCT 画像等
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	高岡市民病院 加藤 剛
試料・情報を利用する学外の者	岡山大学 責任者：眼科 助教 的場亮 新潟大学医歯学総合病院 責任者：眼科 講師 寺島浩子、分担者：眼科医員 安藤拓海

	日本医科大学付属病院 責任者：眼科 大学院教授 岡本史樹 日本医科大学多摩永山病院 責任者：眼科 助教 後藤均
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2035 年 12 月 25 日までに窓口での受付，電話等により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学医学部 眼科学講座 担当者：(職名) 講師 (氏名) 坪井 孝太郎 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又 1 番地 1 電話 0561-62-3311 (内線 22181)